

令和4年度大阪市福島区における新たな地域コミュニティ支援事業
公募型プロポーザル方式における選定結果について

1. 案件名称

令和4年度大阪市福島区における新たな地域コミュニティ支援事業業務委託
契約期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2. 選定した委託予定事業者

一般財団法人大阪市コミュニティ協会

3. 公募期間

令和3年12月16日から令和4年1月13日

4. 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
生田 英輔	大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授
柳瀬 真佐子	NPO 法人市民ネットすいた 理事
服部 繁一	大阪産業創造館 経営相談室 中小企業診断士

(2) 選定会議の開催日 令和4年2月17日（木）

(3) 審査基準

選定基準	審査内容	配点
事業の企画内容	・ 本事業の目的及び業務内容の理解度 ・ 事業の計画性、実施内容の妥当性 ・ 業務手法の的確性、実現可能性 ・ 課題解決能力、手法の独創性	55点
事業の実施体制 （人員配置等）	・ 確実に遂行できる組織体制・運営基盤	20点
類似業務の実績等	・ 類似業務に関する情報及び技術の蓄積	15点
所要経費、 積算見積金額の妥当性	・ 効率的で妥当な経費により提案されているか	10点
合計		100点

(4) 審査を行った事業者

2事業者

(5) 審査の結果及び選定理由等（選定委員の評価点の合計点）

審査項目	A社	B社
事業の企画内容	126	120
事業の実施体制（人員配置等）	47	46
類似業務の実績等	34	32
所要経費、積算見積金額の妥当性	16	20
合計	223	218

(付帯意見)

- ・新たな担い手の確保に向けて、福島区で取り組まれている被災地訪問事業等との連携など学校などを巻き込んだ取り組みを期待したい。
- ・まちづくりセンター自身の運営体制なども全体的に再考し、支援員の人材育成にも注力いただきたい。
- ・防災に関して着実に支援を進められるよう、防災アドバイザーの役割を明確にして、実践できる体制を担保してもらいたい。
- ・地域の実情を知る支援員の熱意を、具体的な支援の推進に繋げていってもらいたい。